

ふくしと私



社会福祉法人徳島県手をつなぐ育成会

障害者支援施設 ルキーナ・うだつ

生活支援員 藤本みなみ

ルキーナ・うだつに就職して4年目になります。私は大学生の時から、障がいを抱える人達と関わる仕事がしたい、障がいを抱えるお子さんを持つ家族の力になりたいと思っていました。きっかけは、大学に在学中、親戚の知的障がいを抱えた子（A君）が、行動

障害によって家族に怪我をさせてしまった事です。当時、大学の講義で発達障害や知的障害について勉強していた時だったこともあり、とても印象に残っています。その頃から、自閉症や知的障害、精神障害等について興味を持ち、調べるようになりました。



収穫祭

A君は元々、家庭で生活していたのですが、重度の知的障害を抱えていた事もあり、家族の怪我を機に、障がい者施設に入所する事になりました。話を聞いた時はとても驚いて、様子を見に行きたいと何度も思いましたが、遠くの県に住んでいた事、自身が在学中であった事もあり、たまたま電話で話を聞く事しかできませんでした。しかし、話を聞く中で、A君が施設に入所したことで家族の負担が減ったこと、家庭で過ごすより情緒や行動が安定していること等を聞き、A君のような子の力になりたい、A君のような子供を持つ家族を支えたい、

と思います、障がい者福祉に関わる仕事がしたいという気持ち

が明確になりました。

ルキーナ・うだつで働き始めると、沢山の利用者さんに出会い、利用者さんの純粋さ、そして、利用者さん1人1人が沢山の生きづらさを抱えて生活していることを知りました。素直に物事を受け止める

その姿の中に、自分の気持ちが伝えられない、衝動が抑えられない、こだわり行動によって自身を苦しめてしま

う・・・等、沢山の困難を抱えて生活しているのだと。また、それらによって自傷や他害が起こってしまったり、こだわりの強化に繋がってしま

い、より生きづらさを抱えるようになってしまった方もいました。個々の障がい特性にあった支援をすべきではあるものの、働き始めて4年目の今でも、理解しきれない部分があると感じます。支援していく中で、利用者さんが楽しく過ごしていけるように



ハロウィンイベント



藤本みなみ支援員の記事がリプルに掲載されました。

利用者さんと共に楽しく生活できるように一緒に頑張っていけたらと思います(^_^)

b y . okanishi